2021年11月22日

各　　位

会社名　株式会社ライトオン
代表者　代表取締役社長　藤原祐介
（コード：７４４５　東証第一部）
問合せ　取締役管理統括部長　大友博雄
（ＴＥＬ：０２９－８５８－０３２１）

「第42回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」の一部訂正について

当社は、「第42回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」の記載事項の一部に訂正すべき事項が御座いましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させて頂きます。

当社ウェブサイト（https://biz.right-on.co.jp/）に掲載したインターネット開示事項につきましては、2021年11月22日付で訂正後のものに差替えております。

記

1.　訂正箇所

「第42回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」　９頁

連結注記表　３．会計上の見積りに関する注記　⑵固定資産の減損

①当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額

2.　訂正内容（訂正箇所は下線で表示しております。）

連結注記表

３．会計上の見積りに関する注記　⑵固定資産の減損

①当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額

（訂正前）

当連結会計年度の連結損益計算書に計上した減損損失額は 1,449 百万円であります。

当連結会計年度において業績が悪化した店舗で減損の兆候があると認められており、当該店舗について資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって、減損損失の認識の要否を判定しております。

また当連結会計年度の当社の営業利益は 83 百万円と黒字となりましたが、政府・自治体の要請に基づく休業・時短等を要因とした「新型コロナウイルス感染症による損失」を考慮すると、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっていることから、当社の共用資産を含む固定資産について、減損の兆候があると判定しております。減損損失の認識の要否の判定に当たって、割引前将来キャッシュ・フローを見積もった結果、その総額が固定資産の帳簿価額を上回るため、減損損失を認識しておりません。

なお、当社の共用資産を含む固定資産の帳簿価額は 4,508 百万円（有形固定資産 3,785 百万円、無形固定資産 723 百万円）であります。

（訂正後）

当連結会計年度の連結損益計算書に計上した減損損失額は 1,449 百万円であります。

当連結会計年度において業績が悪化した店舗で減損の兆候があると認められており、当該店舗について資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって、減損損失の認識の要否を判定しております。

また当連結会計年度の当社の営業利益は 83 百万円と黒字となりましたが、政府・自治体の要請に基づく休業・時短等を要因とした「新型コロナウイルス感染症による損失」を考慮すると、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっていることから、当社の共用資産を含む固定資産について、減損の兆候があると判定しております。減損損失の認識の要否の判定に当たって、割引前将来キャッシュ・フローを見積もった結果、その総額が固定資産の帳簿価額を上回るため、減損損失を認識しておりません。

なお、当社の年度決算における減損損失計上前の共用資産を含む固定資産の帳簿価額は 4,985 百万円（有形固定資産 4,262 百万円、無形固定資産 723 百万円）であります。

以　上